Vol. 26 2016.02

ROKKO NEWS

http://www.rokkorugby.com

特定非営利活動法人
六甲クラブ

全国大会 準決勝直前号

激戦を乗り越え be as“ONE”！

名古屋クラブかわして準決勝進出！ 決勝切符かけタマリバと激突！

六甲、苦し勝ったー。

「第23回全国クラブ大会」の2回戦は1月24日m京都市宝ヶ池球技場で行われ、初戦の六甲ファイティングブルは名古屋クラブを26対17で下して、昨年に引き続き準決勝進出を決めた。試合は前半19−0とリードしたものの、後半に名古屋の反撃で一時は2点差にまで詰め寄られたが、最後は主将・谷晋平自らのトライで関西のライバルを突き放した。準決勝の相手は昨年度優勝の神奈川タマリバクラブ（2月7日、14時キックオフ・パロマ瑞穂）。激戦を乗り越えさらに成長した六甲ファイティングブルが、決勝切符をかけて全身全霊でぶつかる。

第23回全国クラブ大会2回戦（1月24日 京都・宝ヶ池球技場）

	六甲ファイティングブル	名古屋クラブ
	26	17
前半	19	0
後半	7	17

	六甲FB	名古屋クラブ
T	3	0
G	1	0
PG	0	0
前	19	0
T	3	0
G	1	0
PG	0	0
後	7	17
計	26	17

▽交代
▼入替 村川義則（天理大）＝加村、永田
大明（龍谷大）＝奥田、中江翔平（関学大）＝大内、吉本将輝（帝塚山大）＝寺田、大塚貴之（帝京大）＝三木、鳥原将司（同大）＝玉川

六甲FB先発

FW	村下	産大）
	田内	（同大）
	島垣	（東海大）
	大野	（京産大）
	福板	（九共大）
	伊藤	（大体大）
	小野	（帝京大）
HB	谷	（帝京大）
	越村	（天理大）
	和田	（中　大）
TB	前田	（大体大）
	寺田	（天理大）
	三木	（手塚山大）
FB	玉川	（甲南大）
	加日	（立命大）

どんなに万全な準備をしてもなかなか簡単に勝たせてはくれない。それが全国大会だ。

「さあ始まるよ！」（谷主将）

キックオフ直前のロッカールーム。選ばれた六甲23人は互いの肩をグッと引き寄せ円陣を組んだ。

「試合に出れないメンバーやスタッフがこんなにも準備をしてくれた。これがこのクラブの良さだ。六甲はオンリーワンだとオレは思う。だけどオンリーワンだけじゃ物足りない。多くの思いを背負ってナンバーワンになるんだ！行くぞ六甲ッ！」

谷主将の気合一声、寒波で凍てつく宝ヶ池のピッチに六甲戦士が飛び出していった。

風下からのキックオフ。強風を利用して深く攻め込んでくる名古屋に対して六甲は我慢のデフェンスを繰り返す。板垣、伊藤のFL陣が鋭くタックルに入り相手のミスを誘う。試合が動いたのは前半23分。WTB三木が防御をすり抜け大きくゲイン、FWが続き、最後は野獣FL板垣が右中間に飛び込んだ。SO越村のコンバージョンも決まり7−0と先制する。

続く27分。攻め込まれたブレイクダウンのこぼれ球を再び板垣が鋭く反応。敵陣深くにキックを蹴り返し追ってきたTB前田が競り勝ちボールを確保。すかさずSH谷が右隅にタッチダウン。さらに36分には、逆風でノータッチとなったSO越村のキックを忠実にチエイスしてきたWTB和田が転がるボールを巧みに拾い上げ30メートルを走り抜けた。

風下の前半で19−0。多少のミスはあったが「いける！」と感じた六甲。ハーフタイムの控室でも意気が上がる。だが、後半に大きな落とし穴が待っていた―。

後半10分過ぎ、最前線で体を張り続けていたFL板垣の負傷交代がチームに大きな影を落とし始める。攻撃にも「色気が出た」と東田総監督が分析するように、やや強引なアタックで反則やミスを繰り返す。厳しい球際のしのぎあいから息を吹き返した名古屋は、前六甲主将でもあるFL鎌田のトライなどで残り5分までに19対17と2点様まで詰め寄ってきた。

「（踏ん張りどころは）ここだ、ここやぞ！」必死のタックルで両腕が擦りあがった谷主将は必死に仲間をまとめ上げる。そして後半38分。敵陣右中間のマイボールスクラムを押しこみ、最後は主将の谷自ら激戦に終止符を告げるトライを上げた。

「1か月ぶりの実戦で厳しい戦いになることは覚悟していましたが、これほど苦しむとは思いませんでした」と谷主将は安どの表情を浮かべた。「後半の戦い方に課題が出たとは思いますが、それだけ名古屋クラブがこの試合にかけていたということ。それでも僕らは勝ちきった。勝つべくして勝ったと思います」と前向きにとらえていた。

準決勝の相手は昨年度の王者・神奈川タマリバクラブ。クラブラグビーの概念を変えた強豪で六甲は何度も苦杯をなめている。「今日の試合、名古屋クラブさんにはいい勉強をさせてもらった。必ず次につながります。我々はチャレンジャーです。セットプレーを安定させ、たくさん走り、相手の強みを消していきたい。チャレンジャーで六甲クラブ全員で戦いたいです。」（谷主将）

激戦やピンチを乗り越えて、選手やチームはさらに「ONE」になっていく。

六甲ファイティングブル。今はただ走り抜けるのだー。

スポーツ振興くじ助成事業
toto
FOR ALL SPORTS OF JAPAN

WORLD　HYDRUN　ナカシマ　HOTEL PLAZA KOBE ホテルプラザ神戸　JTB　Perfect Trainers 株式会社パーフェクト・トレーナーズ

私たちは、六甲ファイティングブルを応援しています！

友の思い背負い、俺達は必ず勝つ!!

ひたむきに！

泥くさく！

仲間のために！

プライドかけて！

鎌田前主将から“六甲魂”伝授！

～大好きな仲間のために「勝負の厳しさ」たたき込む～

鋭いタックルは3年前と少しも変わらなかった。名古屋クラブの最前線に、２０１１・１２年シーズン六甲主将の鎌田崇史がいた。

細い体ながら流れを変えるタックルで六甲クラブを連覇に導き、満身創痍の体で日本選手権に出場。厳しい環境を言い訳せずに大学王者の帝京大に挑んだ姿はチームの伝説にもなっている。

３年前に名古屋に転勤、六甲を離れた。昨季は体のリカバリーのために本格的なプレーは控えていたが、名古屋で行われた昨季の全国大会で六甲を応援するうちに再び闘争本能に火がついた。「もう一度日本一になるために、地元の名古屋クラブに入ります！」。律儀な男らしく、昨年６月の名古屋クラブとの定期戦に、わざわざ六甲側にあいさつに訪れている。

鎌田が加入したことで名古屋クラブもチーム力が飛躍。試合では何度も六甲の強力ＦＷに鋭く突き刺さり、後半には古巣を追い詰めるトライも上げた。六甲ＬＯ大内を一発で仕留めたタックルには両軍から賞賛の声が上がった。

ノーサイド。六甲側に潔く深々と頭を下げた元主将に、六甲陣営から多くの拍手が送られた。ピッチ上で行われたファンクションで、主将の谷晋平も「最後まで苦しめられました。個人的にもリスペクトしている大好きな選手です」と迷いなくマン・オブ・ザ・マッチに指名した。

「六甲クラブのかつての仲間と真剣勝負ができて本当に楽しかった。ありがとうございます」と感謝の言葉を述べた鎌田。顔を紅潮させながら涙をこらえた次の言葉は両軍選手の胸に深く響いた。

「僕らはこの試合にかけていた。名古屋クラブで六甲クラブに勝てなかったことが本当に悔しいです。次のタマリバ戦僕らの分も頑張って下さい。応援に行きます！日本一になって下さい！」

大好きだった六甲クラブ。そして六甲を応援する気持ちは今でも一番だと自負する男が見せた体を張ったタックル、素早いリロード。前主将から勝負の厳しさをたたき込まれた。今季の六甲主将・谷晋平は「鎌田さんや名古屋クラブさんの涙もしっかり背負って準決勝のタマリバに必ず勝ちます！」と固く誓った。

NHKが六甲クラブを取材

1月24日の全国大会2回戦の模様をＮＨＫが取材した。六甲クラブに所属するＷＴＢ大塚貴之を中心に六甲クラブをまとめたもので、撮影スタッフは帝京大時代から大塚を追いかけている。取材の内容は1月30日のサタデースポーツで全国放送された。今後もより多くの視線が六甲クラブに集まることになるが、選手・スタッフ一同、気を引き締めて活動を続けていく。

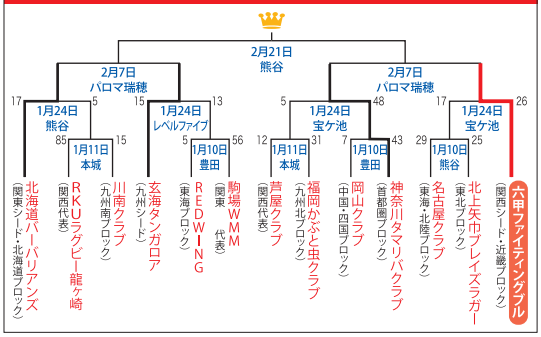
初戦の固さ？戦い方に課題も準決勝へいい経験

総監督 東田 哲也

いつもあたたかい応援、サポートありがとうございます。

前半、風下ながら得点を重ねましたが、後半の戦い方に課題が残る結果となりました。もっと確実に敵陣に入ってプレーを重ねていれば違った試合運びになったかもしれません。しかし、接戦を勝ち抜いたことで、選手たちはかけがえのない経験を積みました。準決勝のタマリバクラブの大きな壁を破って、必ず決勝切符を勝ち取ります。今後とも皆様の熱いご支援で選手たちをサポートしていただけるようよろしくお願いいたします。

第23回 全国クラブラグビー大会・組み合わせ表



プレーヤー・サポーターも募集しています！

個人後援会員	団体・法人会員	ユニフォームロゴ・スポンサー
年間会費　2,000円	年間会費　1口10,000円（原則2口以上）	年間50,000円～（要相談）（原則2年契約）
予定している特典 ・会報の送付 ・試合、行事などの案内 ・ファンの集いの案内、優待など	予定している特典 ・試合、行事などの案内 ・後援企業(団体)交流会 ・企業(団体)広告の掲載 ・ファンの集いの案内、優待など	予定している特典 ・ジャージー・パンツなどにロゴ ・団体、法人会員と同等の特典 ※詳しくはお問い合わせください。

◀サポーターの年会費と特典内容

お問い合わせは

特定非営利活動法人 六甲クラブ サポーター会員募集事務局（担当 :山崎秀子）
お問い合わせはEメールにてお願い致します。
e-mail:rokkoclub@hct.zaq.ne.jp FAX:079-243-1156

HPからお申し込みください。 http://www.rokkorugby.com